



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

Discover a New World 見つけよう

of Service

奉仕の新生面

1984~'85 R.I 会長 カルロス・カンセコ

猪熊会長 クラブターゲット 見なおそう 出席・親睦・そして奉仕を・・・

第 341 回 例会 60年 4月 18日 第 347 号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
54名	42名	80.77%	98%

欠席者 (10名)

古郡、古川、細野、木村、小島、中西、岡本
大西、清水、土屋

本日のプログラム	4月 25日
笠原 淳氏 (芥川賞作家)	
「生活と文学について」	

次 週 予 定	5月 2日
武田隆弥氏 (石川島播磨重工(株)顧問弁護士)	
「江田島教育について」	

司会 SAA 古木勝治君

ソングリーダー 上村幹雄君「奉仕の理想」

〈 ゲ ス ト 〉

浜田三雄氏 (国学院大学講師・相模原中RC会員)

〈 ビ ジ タ ー 〉

布野勝久君 (川崎大師) 岡田 勇君 (川崎中央)

林 悦嗣君 (厚木) 池田升雄君 (横浜瀬谷)

小椋辰夫君 (相模原西)

星 幸男君、石田良一君、奥唄宏一君

川島熊平君、竹中滋治君 (大和)

古木明夫君、宮島国重君、曾根徳次君

屋代勝雄君、境 紀久生君、浜畑勝彦君

(大和田園)

〈 会 長 報 告 〉

○本日は川崎中央ロータリークラブ認証状伝達式
へのお誘いということで見えになっておられ

ますので一言ご挨拶をお願い致します。

川崎大師RC 布野勝久君

このたび津田ガバナー及び渡辺拡大カウンセラーのご指導によりまして、私共川崎大師クラブがスポンサーとなりまして川崎中央ロータリークラブを創立致しました。チャーターメンバー45名で4月8日に創立総会を挙行し、4月10日付で国際ロータリーへ正式加盟を承認されました。私共川崎大師ロータリークラブの会員が中央ロータリークラブの方と2人で組みまして地区内各クラブにご挨拶に伺っております。

来る6月8日(土)に認証状伝達式を挙行致しますので御多忙のこととは存じますが皆様多数のご出席をお願い致します。

○本日又、2名の新しいお仲間をお迎え致しました。加藤好秋さんと潘桂柳さんです。それぞれご推

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和中央1-5-40
大和市商工会館内
☎0462-63-7926
例会場：大和市大和南1-4-4
八千代信用金庫大和支店4階
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より
会長：猪 熊 唯 夫
会長イレク：上 田 利 久
副会長：藤 田 重 成
幹 事：伊 藤 英 夫
会報委員：松本(三)・上村・伊藤(四)

薦者の方より御紹介をお願い致します。



加藤好秋君：加藤さんは当八千代信用金庫の支店長さんであります。略歴等につきましては皆様すでにご存知のことですので省略させていただきますが、これからもお世話になることですので宜しくお願い致します。（寺田）

只今ご紹介を賜りました加藤でございます。この名誉ある大和中ロータリークラブに入会をさせていただきますまして厚く御礼申し上げます。4月1日付で南川のあとにこちらに参りました。私もロータリークラブは初めてでございます、かって町田市に住んでおまして青年会議所運動を7年程やっておりまして、その後横浜の方のライオンズクラブに入っておりました。ロータリーは兄が町田ロータリークラブで会長をやりまして、おいが東京青年会議所のブロック長をやっております。そんなことで私共仕事を通じて地域社会の為にどれだけ奉仕が出来るかと考えております。又、奇しくも事務局の高橋さんとは10年ほど前私が南林間支店におりました時に大和クラブに例会場をお貸ししました時以来の再会です。当時の会長でいらした星さんも本日お見えになっておられますようで、大変お世話になりました。そんな訳でロータリーとは何かとご縁がございました。未熟者ですが、地域のため、ロータリーの為に努力をして参りたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。



藩 桂柳君：素敵な仲間を1人紹介致します。大和中央外科で外科と麻酔をやっておられます藩さんです。藩さんは決して奉仕の精神が旺盛だとは申せません。が真面目の中に大変楽しい、そしてこのようにダンティズムを持っておられます。外科医の為大変メスが切れます。ゴ

ルフでアイアンを持たしたら右に出る人はいません。アイアンの番といいます。どうぞ宜しく……（上田）

只今ご紹介いただきました藩と申します。大和中央で大和中央外科を開院致しまして18年になります。このたび仕事の上でも、学校でも先輩である上田氏のご紹介で当クラブに入会させていただきました事を大変光栄に存じております。クラブの精神、伝統については全く無知でございます。これから皆様方のご指導を賜りますよう宜しくお願い致します。

〈幹事報告〉

- 本日例会後、臨時理事役員会を開催致しますのでお残り下さい。
- 先日の座間チャリティーゴルフ会には多数ご参加下さいましてありがとうございました。

一言

富沢重徳君：次期のことで大変申し訳ありませんが、次期プログラム委員会と親睦活動委員会を代表しまして一言お願い申し上げます。本日、皆さんのお手元にアンケートがあると思います。

「10周年記念に向けて皆で歌おう会を作ることについてのアンケート」と言うのですが、これをよくお読みいただきまして無記名で結構です。来週の例会迄に皆さんのご意見をお寄せいただきたいと思っております。提出先は私か事務局で結構です。先週ローターアクトクラブの方が見えまして、大和市民まつりでのバザー開催に当り品物ご寄付の依頼がありましたが、本日私が頼まれましたので再度お願いを致します。すでにご協力者がおられました品物は徐々に集っておりますが、締切りは4月26日ですので次回例会までお願い致します。尚、ご自宅まで取りにも伺うそうですのでおっしゃって下さいとのこと。どうぞ協力をしてあげて下さい。

亀谷志郎第11分区代理：先日の分区代理会議でのご報告を申し上げます。①ロータリー財団の目標（1人80ドル）達成に邁進して頂きたい。②RYLA参加は各分区5名位の割でしてほしい。③青少年交換学生は前期9名で前年度より1名減となった。以後、年々減らしていく方針。受入れについては現在89クラブあり10クラブは受入れ不能（理由は分からず）なので79クラブで1年20名近く受入れをしているので約3年に一度は廻ってくる事になるので宜しく願いたい。と言う事です。

上田利久会長エレクト：お手許に次年度委員会一覧表をお配りしてあると思います。"くつろぎの中で己を知り、そして他人を知る、ここに委員会活動があります。けぎらいをしないで頑張ってください。

〈委員会報告〉

親睦活動委員会 委員長 後藤定毅君
次週に5月26日予定の科学万博見学家族会の会費を集めさせていただきたいと思いますので宜しくお願い致します。

お 祝	おめでとうございます！
御夫人お誕生日	金井大輔君晴江夫人（4月24日）
結婚記念日	長谷川清一君 （4月20日） 金井大輔君 （4月22日）

入会の意義

新会員をどのように歓迎しているか？新会員は、誠意をもって親切に受け入れよう。だがクラブは主として奉仕を行うために存在するという点を、すべての会員に最善を尽くすよう奨励することによって、明確にすることも必要である。

新会員は、このような雰囲気の中でこそ、自分は有意義な団体に所属していると感じるのである。団体の方でも会員の限られた時間を理解し、これを最も有効に活用することになる。責任感のある人なら、意義があるように見えるが、実は軽薄であったというグループに入会したと分かったなら、きっとだまされたように感じるであろう。責任感のある人は、会員になることが、単なる社交、談話、募金以上のことを意味するクラブの一員になりたいと願うものである。

ゲストスピーカー

浜田三雄氏



「ふれあい教育運動と青少年の健全育成」

紹介：先生は相模原中R Cで現在会長エレクトでいらっしやいます。国学院大学

の講師をされておられ相模原市の教育委員もされておられます。又、ICE教育研究所々長さんでもおられ、非常に見識豊かな方であられます。只今神奈川県では「ふれあい教育運動」というのが推進されておりますが、浜田先生は理論的裏付けを確立された方で、私共PTA或は社会教育団体には日頃非常にお世話になっている方でございます。先ずお話をさせていただきそのあとフォーラム形式で行ないたいと思います。（二見君）

今、神奈川県では「ふれあい教育運動」が、PTAを中心にして活発に展開されています。この運動は、連続して発生した青少年の非行事件から受けた大人たちの衝撃に端を発していますが、県民ぐるみの論議を経て、昨年度から子どもたちに自然や人とのふれあい体験の機会を増やし、健全に青少年を育成していこうとする様な実践が行なわれています。

県下のPTAの論議を要約すると、多くの大人たちは、子育ての中で競争に勝つことだけに目を向けて、勝つための手段のみを大切にしていたのではないか、生活体験をさせるという家庭教育本来の役割を見失っていたのではないか、という反省に立っています。

今、子どもたちの健全な成長を考えると、従来人間性における競争原理の側面や、快樂追求（利得追求）の側面だけ肥大化させていたことを反省し、人間性の美しい側面、即ち他を愛し自他の共存を大切に感情や知性を回復していくことが、われわれ大人の重要な責務であることを自覚しはじめたのです。「ふれあい教育運動」の背

後には、このような「美しい人間性回復」への要求が存在していると考えます。

われわれが美しい人間性回復への要求を抱くようになった直接のきっかけは、現在の青少年の行動に対する批判です。しかし青少年の問題は、われわれが作っている社会の問題です。社会の欠陥は、まっさきに弱者に及ぶことが指摘されているように、現在の青少年はわれわれ大人の過度な競争主義、快楽追求主義の犠牲者とみる必要があります。「今の子どもたちは」と欠点ばかりをあげつらねて批判するのは不毛の評論に終るだけです。重要なことは、大人自身が「美しい人間性」の回復への実践的努力をすることだと申せましょう。

私たちは人生の幸を求めて生きています。幸の考え方には個人差があるにしても、人生の幸を目的的価値（一次的価値）としています。そして、この目的を達成するための手段として競争すること金銭を得ることの価値（二次的価値）を認めます。二次的価値は、絶対的価値である一次的価値を得るための操作的価値という性格をもつものです。

人類は、科学の進歩と共にいつの間にか二次的な操作的価値を至上の価値とみなし、一次的な目的的価値を経視しがちです。操作的価値を至上のものとする、全てを自己の手段として利用する傾向が生じ、そこから役に立つもの、役に立たないものという区別や分離が行なわれるようになります。たとえば、子どもが勉強する目的は自分を高めることよりも良い学校へ進むために良い点をとることが目的となり、大人は点数だけで子どもを評価し区別する風潮が生じます。更に親は自己の利益—— 満足のために子どもを手段として利用し大学へ行かせようとするようになります。子どもは、給料をたくさんとってきて、何でも欲しいものを買ってくれる親を尊敬し、給料は少なくても真面目に生きている親を尊敬しなくなります。また、私たちに生命を与えてくれている自然は、

人間の便利のための手段でしかなくなり、学問は学者の学問的好奇心を満す手段でしかなくなる危険性も生じてきます。

私たちが反省することは、一次的価値を見失ない、二次的価値のみを重視する傾向についてです。私たちは今一度、お互いに存在する者同士としての価値を大切にしようとしているのです。最近教育の問題と共に社会的課題とされている福祉の問題も緑の問題も、基盤となる考え方は同じくこの点にあります。

さて、ふれあいとは告げる、触れて感じるという意味の言葉ですが、一口に言うコミュニケーションを図り深める行為です。これを形成する過程がふれあいです。

この関係で、中核となる心の働きは思いやりの心で、これは相手の立場を察するという豊かな感性と、自他がお互いに平等で尊敬しあう者同士という感性的認識がなければ成り立ちません。思いやりの心で中心になるのは感性の働きです。感性は知性のような理窟で意味を理解する性質のものではなく、感覚を通しての判断機能ですから体験的経験ということが何よりも大切です。ふれあい教育運動が、人や自然とのふれあい体験を重視する理由も、この感性の性質によるものです。

現在の子どもたちは、少ないきょうだいの中で物質的に便利で豊かな、人工的機器に満ちた、という環境の中で生活しています。そのために自己中心性、依存性、不能感の肥大化、怖いもの知らずなどの特徴—— 非自立的で自己愛的な傾向があると指摘されています。このことは先程述べたように子どもの責任というよりは、社会の責任です。

大切なことは、私たちが子どもたちに、彼たちの自立性の達成を助けるような体験の場や機会など環境を用意してやることです。

健全育成というのは、個性的自立心を持ち、しかも自己の社会的役割を果たすことの出来る様な人間に育てることですが、エリクソンによれば、個

性的自立を達成するためには、小学生時期では勤勉性を身に付けることが重要な課題であり、中・高生では、勤勉性を土台に「私は私である」という自我同一性を身につけさせることが重要な課題とされています。

小学生時期の勤勉性とは、自分の持つエネルギーや能力を学校・家庭・地域で発揮しようと頑張る意欲のことで、これには自分の持つ能力を発見し、あるいは築きあげようとする努力が必要です。近年の心理学は、人の能力は知能だけでなく、体育の能力、調理の能力、リーダーシップの能力など多くの特殊能力の存在を証明し、これらの特殊能力は幼少期の体験から培われ、青年期の個性形成の基礎となり、しかも社会に出てその人らしく活躍出来る基本的能力であるとしています。

青年期における自我同一性達成の重要性は、これが个性的自立と直接関係があり、しかも自分の選ぶ進路、仕事、勉強に真剣に取り組んで自己が自己に課した課題に対して責任を持って行なう、という心を育てる基になります。このことによって、自分への確信が出来、自分らしさを持って社会的役割を果そうとする態度が形成されることになります。更に個性の確立の重要性を申し上げると、自己への確信は成人初期の人間関係において、相手を受け入れるか否かの態度にかかわってまいります。即ち、自己への確信が形成されている場合は、どんな相手をも等しく受け入れることが出来ますが、これが形成されていない場合は、自分より優れる人に対してはコンプレックスを抱き拒否的になる、劣る人に対してはいわれもない優越感を抱くようになりやすく、いずれも心のふれあいを拒む原因をつくることになります。

私たちは、青少年に対して、勤勉性及び自我同一性の達成を図ってやらなければならない訳ですが、勤勉性にしろ自我同一性にしろ青少年自身が人や自然とのかかわりの中で経験する様々な葛藤を克服することによって達成出来るとされていま

す。

従って私たち大人は、青少年に対して過保護なお節介や干渉を避けなければなりません。重要なことは、彼たちの自主性・主体性を尊重し、自らの力で達成させることです。大人は、彼たちに様々な感情を湧き出させることのできる、そして現実を直視するような体験の機会や場を用意し、彼たちの活動を暖く見守り、必要な助言と励しを与えるようにしなければなりません。言いかえると、われわれ大人の役割は彼たちの世話をする役割です。

ふれあい教育運動は、「人は何のために生きるのか」、「生きるということの意義は何か」という人生の基本的命題を、今一度大人も子どもも考えてみる機会でもあります。子どもたちは彼たちの体験を通して、私たちは彼たちの世話をする体験を通して、各々がそれぞれの年齢層なりの仮説を発見し追求していくところに、ふれあい教育運動と生涯学習との深いかわりも生じてまいります。

また、私たちが彼たちの世話をする関係を通して、世代間の心の交流も可能になるものと思います。

最後に、私が常日頃ロータリーの奉仕を考える際に頭に浮ぶカントの言葉を申し上げて終わります。「人間性は手段とせず目的とせよ」。この言葉は、思いやりの奉仕の核心をつくと共に、ふれあい教育の核心をもつ言葉であることを申し添えます。

ご静聴ありがとうございました。



クラブフォーラム

「ロータリアンから見た 青少年問題」

司会：二見君：フォーラムとは意見を出し合い特別意見の一致を見る必要はないという事ですので限られた時間で、先程の先生のお話を伺って感じられました事について多くの方々の意見を伺いたと思います。次年度青少年奉仕委員長の高橋さん次年度の抱負を含めまして一言お願いします。

高橋君：最近「青少年を自立化させよう」と言う事と「ふれあい教育」と言う事を多く耳にしますが、私は市の青少年指導員をやっております関係で教育委員会から「ふれあい」と言うことをさかんに言われ、PTAが主体となって運動をし参加させて頂きました。その中で感じました事は、学校の先生の協力が非常に少なく、「ふれあい広場」というのをやる前にいろいろ協議する中で「何故そんなふれあいをやるのだ」と言う質問が先生から出る事です。県の方でも「ふれあい教育」という事を盛んに言っているのですが、果して地域の人がそれを感じていても、実際に学校で教えている先生方がどうしているのかお聞きしたい。又、自立性を持たせるという中で、青少年健全育成の中で一番大切な事は環境作りではないかと私は思うのです。そういう意味であらゆる職業人の集りであるロータリーは環境づくりをする最もよいチャンスであり、それが奉仕ではないかと思えます。その環境づくりを具体的にどの様に進めていけばよいか……と考えています。

二見君：具体的なご意見ありがとうございます。一通り皆さんからご意見を頂いてから最後に先生にまとめて頂きたいと思っています。

辻君：今社会の中で青少年問題というテーマには中学生問題がピッタリと問題化されていると思います。校内暴力問題等に対し我々大人としてロータリアンとして青少年問題は時として逃がっている事が多いと思います。ロータリーは奉仕の精神といいながら大きなテーマに向って積極的に前向きに体当

りしていないと思うのです。先生が悪い学校が悪いという大人達の片寄った考え方を我々ロータリアンである以上その道を通じて本当の意味で子供達の育成にあたるべきだと私は思います。然しふれあい運動にしても、学校と家庭と地域と行政と言う四本の柱でやっていく時に応々にして大人達が監視する形で運動が展開されるという事が時として問題になります。そこから辺の大人の加入する度合いについてお教え下さい。

長野君：2年後の委員長として指名を受けてはいるのですが青少年問題について具体的なものは現在持っておりません。が自分の子供を通じての事をお話させて頂きます。今年中学に入りました子と高校生・大学生とおりますが、中学に入りました子がこれから一番大事な時期であると思っておりますが幸いボーイスカウトにお世話になったお蔭で非行という問題にもぶつからずにすむと思っております。一つの団体生活、先輩、後輩等親の出来ない教育をして頂けるということは素晴らしい団体であると思えます。当クラブにもボーイスカウト育成会長等で辻さん、近藤さん、松本(三)さんがご活躍、ご尽力いただいておりますが……。やはり、きちんとした教育団体、奉仕団体の中で育てていくという事が子供に対しても、社会に対しても非常に幸せなことではないかと、とりとめもなく思っております。

上村君：私はつきみ野中学で木曜、土曜の夜6時30分～8時40分迄柔道の指導という事で60人位の小3～中3の子供と接しておりますがその時の話をさせて下さい。

体育館に60帖程畳を敷いてから始める事になっているのですが、大きな身体をした中学生がそれをやらず、はじめる間際に来て準備体操もせず、小さな子を投げ飛ばして快感を覚えているというのが現実です。それを見つけると私は思いきって投げ飛ばし動けない様にしてしまうという事になっています。非常に乱暴な先生ですので上級生はともイヤがります。しかし社会全体で“大人は悪い！”

という感じを与えなくてはいけないのではないかと思うのです。タバコやへ中学生が買いに行っても黙って売り、自動販売機では酒を売っている。という具合ではいけないと思う。そういう世の中なんだから大人は恐れぞという様な世の中を作らないで奉仕だの何だのと甘ったれた事を言っているのは大人が間違っているのではないかと感じています。

松本曰君：つい最近ある家庭のご夫婦が登校拒否について相談に見えました。小さい時からお利巧さんで手が幼からず育って来た子が突然高一になり登校拒否をしたという事です。いろいろ聞いて見ますとやはり家庭教育の中で小さい時からのものが出来ていなかった為に友達が出来なかった。建て売りを買い、返済の為に共働きをした事のしわ寄せが子供にきたと言う事です。潔癖ゆえに友達となじめなかった。先生に相談してもものってもらえなかった。家に帰っても両親がいなかった。等々のことがつもりつもって登校拒否となり家庭内暴力となった訳です。然し今は本人も立ち直り高校2年に通いはじめましたが、このことを通して家庭教育というものを痛感させられた次第です。

二見君：最後に先生にまとめていただきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

浜田氏：いろいろユニークな資料を頂きありがとうございます。それぞれそれぞれの方々の方がおりますので私が今迄研究したり実験したりして来ました原則的なことをいくつかお話してみたいと思っております。

ふれ合い教育の意味が学校の教師にも、PTAにもなかなかつかまれていない。これはかなり時間がかかる事でしょうが「ふれ合い」という事は自然であり、人間でありお互いにそこに共存するという実感をつかむ事によって解る事であり試行錯誤を通しての体験を重ねていくしかないと思います。教師も昔の様に職人的な人が少なくなりサラリーマン化してきたという事はよく指摘されていますが、私共はそういう教師に対し研修を通して教師としての魂をとり

戻してもらおうという事をやっております。

ロータリーの奉仕といえますのはあくまでも個人のすべき事だと思います。うけたまわりますと皆様か個人としてPTAや青少年指導員やボランティアとして指導なさったり相談を受けたりして青少年にかかわって下さっているという事は非常に有難い事です。ロータリアンとしても素晴らしい事ですし、又、ロータリアンをはずれましてこういう仕事をしている者にとりまして有難い事です。我々がやるべき事は個人としてやる事といろいろな環境づくり、環境を浄化していく時に個人の力が及ばない場合PTA或はロータリークラブに目をむけていただきそこにスポットをあてて改善をはかっていただくということが大変有難い事だと思っています。

人間は個人の持っている資質と身体的成熟と心理的成熟と環境との相互作用によって発達していきます。環境により資質が伸びるか否か決まりますが環境をどうつくるかは家庭の環境が一番大きい事です。同時に家庭に影響を及ぼす社会環境です。ロータリアンとしての家庭人を考えた時に私達自身が子供に対して父親という立場の他に大人としてロータリアンとしての接し方が家庭の中で必要なことではないかと思っております。

個人の奉仕として子供達の健全な自発集団づくりにかかわっていただければ有難いと思います。12才頃からエゴインフレーションといひ自我が芽生えてきて大人から見れば生意気な大人に反発する時期を求めてきます。然し自我が成長する事によって自己確信が出来ますし、自我を通して社会を身につけてきます。親のいう事は聞くが自立出来ないというのは自我の成長を親が抑えているからです。エゴが正しく発揮される様に助言を与えていくのが我々の任務であろうかと思っております。自我の成長を叩きつぶすという事は、彼等が将来社会人になった場合にカタワにするということですので、この辺は長い目でみて気をつけていかなければならないと思っております。私達が子供とのふれ合いをします時に今、変わり

つつある世の中に如何に我々が適応すべき努力をしているか、この姿を見た時に子供達は手をさしのべて参ります。私達の言う親の權威はそこに存在します。どうかロータリアンの皆さん人格的威厳を目指してお願い致します。

二見君：どうもありがとうございました。

〈スマイルボックス〉 委員長 北砂富三君

浜田三雄君（相模原中） 本日卓話をさせていただけます。宜しく申し上げます。

布野勝久君（川崎大師） 岡田 勇君（川崎中央） 認証状伝達式のご案内に参りました。宜しく申し上げます。

小椋辰夫君（相模原西） お世話になります。所要で早退させていただきます。

池田升雄君（横浜瀬谷） いつもお世話になります。

林 悦嗣君（厚木） 初めてお邪魔します。今後とも宜しく。

星 幸男君（大和） 本日も宜しく……加藤さんご入会おめでとうございます。その節は色々お世話になりました。

川島熊平君（大和） 雨で生憎のお天気ですがどうぞ宜しくお願い致します。

竹中滋治君（大和） 久しぶりにお邪魔しました。本日も宜しく申し上げます。

奥嶋宏一君（大和） お世話になります。

石田良一君（大和） いつの間にか桜の花も散りましたが、それにしてもよく雨が降りますね。今日は宜しく申し上げます。

古木明夫君（大和田園） またお世話になります。

宮島国重君（大和田園） 初めてお伺いしました。宜しく……。

曾根徳次君（大和田園） 本日はお世話になります。

屋代勝雄君（大和田園） 本日はお世話になります。

境 紀久生君（大和田園） お世話になります。

濱畑勝彦君（大和田園） 初めてのメイクアップを中クラブでお世話になります。宜しくお願い致します。

亀谷志郎君 ①浜田先生本日は御多忙中を感謝申し上げます。②地区協打合せ等の行事と重なり例会を二度休みました。安らかで皆様により影響を与えたようです。③畏友、潘先生の入会を祝して。

辻 国明君 浜田先生本日はお忙しいところどうもありがとうございます。宜しく願い致します。

猪熊唯夫君 四人目の孫が生まれました。いよいよマゴマゴです。母子の健康を感謝してスマイル。

松本三郎君 濱畑様ようこそ。今後共宜しく。

長谷川清一君 結婚記念日を祝っていただき恐縮しております。全然忘れてましてね。この頃は女房と共同の生活すら意識が遠のいてこんなものですかね。只二人で居るというだけね。

金井大輔君 いつもマジな言葉では申し訳ないので次から代筆を願いたいものです。

本日は妻の誕生日、結婚記念日のお祝いありがとうございます。

上田利久君 次年度クラブ活動計画打合せ会には多くの方々のご出席と、ためになるご示唆をいただき感謝致します。一層のご協力をお願い致します。

前原一男君 去る4月15日の座間RCチャリティーゴルフに多数のご参加をいただきありがとうございました。

有沢昭二君 潘先生の御入会おめでとうございます。お待ちしております。

潘 桂柳君 新しく入会致しました。宜しく願い申し上げます。

加藤好秋君 本日入会させていただきます。ありがとうございます。どうぞ宜しく願い申し上げます。

渡辺吉三郎君 入会したばかりなのに欠席致しまして誠に申し訳ございません。これから100%出席を心がけますので宜しく願い申し上げます。